

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校だよりNo. 18

令和5年9月4日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり



熱中症対策について

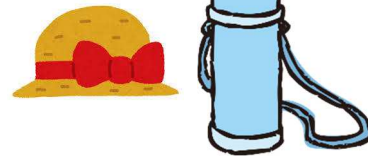
2学期も毎日、熱中症計で暑さ指数（WBGT）を確認し日々の教育活動を行っています。

最近では2時間目やプレタイム頃からWBGTが31°C（危険とされる基準域）を越えて、体育や外遊びを制限しなければならないこともあります。長さの測定や理科の実験観察等の短時間の校庭での学習は、帽子をかぶり水筒持参で行うこともあります。外で思いっきり身体を動かすことができない時間帯もありますが、今後も随時状況把握に努め、子どもたちの安全を第一に考えて活動の判断をまいります。

なお、各ご家庭におかれましても以下のことにご協力くださいますようお願いいたします。

【家庭にお願いしたいこと】

- 1 登下校等での帽子着用
- 2 十分な量のお茶を持参
- 3 通気性のよい衣服の工夫
- 4 十分な睡眠時間の確保とバランスのよい食事
- 5 登下校等で熱中症の健康被害が発生する可能性が高いと判断する場合、マスクをはずす。（マスクの着用は個人・各ご家庭の判断です。）



【お子様の様子を見てご家庭で必要だと判断されれば取り入れても可能なこと】

- ・ 首を冷やすネッククーラーの使用 可（但し外した時に入れる袋の用意や授業中触らないこと、遊ぶ時の注意等、ご家庭で事前にお話してください。）
- ・ 日よけとして傘をさした登下校 可（特に密集する場面では、周囲の人に当たらないように注意して使用するようご家庭でもお話してください。）

【その他】

- ※ 学校でのハンディファン等の使用は禁止とします。子どもの手がふさがったり髪が巻き込まれたり等の危険が考えられることと、保管場所確保が難しく、破損の心配等もあるためです。



関東大震災から100年 9/1『防災の日』

死者・行方不明者が約10万5千人を超えた関東大震災発生から100年となりました。しかし、その後も国内では、阪神・淡路大震災や東日本大震災等々の地震に見舞われています。また今後、南海トラフ巨大地震が必ず発生すると言われていています。改めて、自宅の家具の固定やいざという際の家族が集まる避難場所を確認する等、被害を大きく減らし、自分と大切な人の命を守るためにできることをご家庭でも話し合い、子どもたちと一緒にできることから行動してください。